

人の世に熱あれ 人間に光あれ

地域人権教育指導員 末永知恵美

3月3日は何の日かご存じですか。1922年、日本で初めての人権宣言といわれる「全国水平社宣言」が出された日です。「人の世に熱あれ 人間に光あれ」で結ばれる、差別される側から発せられた宣言です。

映画上映「破戒」

全国水平社創立100周年を記念して、2022年には映画「破戒」が上映され、全国でも好評で上映期間が延長されました。菊池市人権フェスティバル人権作文入選作品の中にも、全国に引き続き、熊本県水平社創立100周年であることを知り、「破戒」を観て、「部落差別は人間がつくった差別なので人間が無くしていかなければなりません。そのために、部落差別を他人事にせず、自分のことのように考え、差別に立ち向かう仲間を増やしていきたいです」と綴り結んだ中学生がいます。

部落差別に虐げられてきた人々が、差別される立場にあることで、その痛みも人の世の冷たさも誰よりも知っている、だ

からこそ、部落に生まれたことを恨むのではなく、自分たちの立場を誇りに思い今こそ立ち上がるのではないかとこのような内容の宣言です。

正しく学ぶ子どもたち

菊池市の小中学生は4年生になると部落差別について詳しく学習します。部落差別とは何か。

「問い合わせ先」菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450 (月)～(金)午前10時～正午、午後1時～午後4時(福祉課)

「パソコンが感染しました」という警告詐欺に注意！

パソコンでウェブサイトを覗いたら、突然「ピー、ピー」とけたたましい警告音とともに画面にウイルス感染を警告するメッセージが現れた。

画面を閉じようとしても閉じることができず、画面に表示されているサポートの電話番号にあわてて電話すると、片言の日本語を話す外国人らしきオペレーターが出て、「パソコンの状況を遠隔操作で確認します」と遠隔ソフトをインストールするように促された。

実は、ウイルス感染を告げる画面や警告は偽物で、実際は感染していません。何とかせねばという人の心理を悪用して、「ウイルス駆除するのであれば、料金がかかります」などと言ってサポート料名目で金銭をだまし取る偽警告詐欺です。

若者の副業詐欺被害が増えています

「簡単な作業でお金を稼ぐことができます」といった勧誘に乗って、作業マニュアルの購入やオンラインでの説明を受けるために、数十万円を前金で支払ったが、マニュアルを読んでも、説明を受けてもよく分からず、解約や返金を求めても応じてくれない、という20歳前後の若者からの相談が増えています。

お金を支払った後の返金回収は難しく、契約する前に消費生活センターや周囲の人などに相談しましょう。

シリーズ◆菊池一族の遺産

【問い合わせ先】菊池プロモーション室 ☎0968(25)7267

当主を支えた兄弟

◆武敏

12代武敏の九男で13代武重の弟です。兄武重を支え、一族の結束を象徴する人物の一人です。建武3(1336)年3月2日、武敏率いる菊池氏・阿蘇氏を中心とした南朝方と足利尊氏率いる北朝方が、現在の福岡市多々良浜で激突、多々良浜の戦いが始まりまし

強風と大砂塵に阻まれます。松浦党の裏切りなど不運が重なり大敗した武敏でしたが、その後九州探題一色範氏などを相手に、九州各地で神出鬼没の活躍を続けました。

当主武重の留守中には一族をまとめ、14代武士の後見役を務めたといわれていますが、どこで、どのようにして亡くなったのかなど、詳しくは分かっていません。墓は大分県宇佐市にあり、武重の墓と同じ亀趺の墓です。

◆武澄

15代武光の兄で、武敏と同じく武重の弟です。当時、当主の武光は九州中部から南部の北朝勢と戦っていたため、武澄は主として北部の北朝勢に当たり、めざましい活躍を見せています。正平9(1354)年8月には、島原半島の多比良城(轟木城)を攻め、9月9日にこれを落としました。翌年8月には、懐良親王を奉じ、肥前(佐賀県)の千葉胤定を降伏させます。さらに筑前(福岡県)で武光の軍と合流した後、豊後(大分県)の大友氏泰を降します。

勢いに乗った菊池勢は、宇佐を落とし城井を攻めて宇都宮守綱も降伏させ、ついには博多へと進軍しました。この勢いに押された一色範氏とその子直氏、範光らは、長門(山口県)へと敗走していきまし

当主である弟武光を支え、九州制覇に向けて戦い続けた武澄でしたが、大願成就を目前にして病により1357年頃、その輝かしい一生を閉じました。

墓は、武光と同じ熊耳山正観寺(東正観寺)にあります。



武澄の墓



菅原神社(穴川区)



四剣を舞う舞い手



観客と鬼神の攻防

守り継がれる 無形民俗文化財④

【問い合わせ先】生涯学習課 ☎0968(25)7232

◆穴川夜神楽

穴川区に所在する菅原神社(寛延4(1751)年創建)の祭日である1月5日に奉納されています。伝承によると400年ほど前に始まったとされ、一時途切れた時期があったものの、現在の山鹿市菊鹿町大林より伝授され、復興したといわれています。

肥後神楽の流れを汲む神楽は、神の舞、御幣、一剣、四剣、弓、弓剣、練り、歌神楽、奉剣、鬼神の舞の10座から構成され、烏帽子を被った神職風の舞い手が左手に神・剣・弓、右手に鈴を持